患者さんも納得！ 骨粗鬆症 用語説明のコツ

骨粗鬆症性骨折

監修：**萩野 浩** 先生　鳥取大学医学部保健学科 教授/附属病院リハビリテーション部 部長

骨粗鬆症になると、骨折しやすくなる

骨粗鬆症は、骨量の低下だけでは特に症状はありませんが、それなのになぜ、治療する必要があるのでしょうか。それは、骨粗鬆症になると、重い荷物を持ったり、つまづいたりしただけで骨折してしまうためです。骨粗鬆症では、特に、**背骨**（椎体）、**足の付け根**（大腿骨近位部）、**肩**（上腕骨近位端）、**手首**、の骨折が多くみられます（図1）。

骨粗鬆症では、繰り返して骨折する

全身の骨がもろくなっているため、1回骨折した方では繰り返し骨折が起こります。いわゆる、**「骨折の連鎖」**です。例えば、椎体骨折が1個だけの方では、1年以内に骨折する確率は11.5%ですが、2個以上の方では20%以上になることがわかっています（図2）。

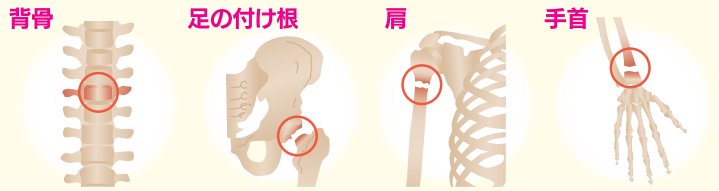
骨粗鬆症による骨折は予後が悪い

骨折による痛みが強いと、1人で日常生活を送ることが困難になります。特に大腿骨近位部の骨折は、直接**寝たきり**につながります。

このように、骨粗鬆症は命にかかわりのない疾患のように思われがちですが、実は、非常に**予後の悪い疾患**であり、家族にも大きな負担がかかります。

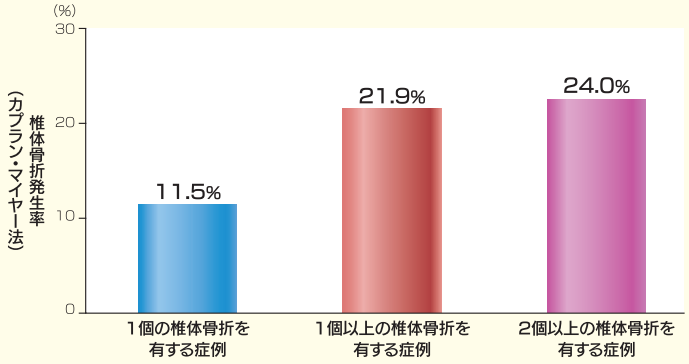
2012年に大腿骨近位部を骨折した方は、19万人と推計されますが、大腿骨近位部骨折後に5年以上生存した方は49～63.5%と報告されています（図3）。このことから大腿骨近位部骨折は、生命予後を大きく損なうことがわかります。

図1 骨粗鬆症で骨折しやすい部位



井上 聡：40歳からの女性の医学　骨粗鬆症-骨のアンチエイジング　岩波書店：31, 2008[L20100913145] より作図

図2 椎体骨折後1年以内の新規椎体骨折の発生率［海外データ］



対象：北米、欧州、オーストラリア、ニュージーランドで実施された4つの大規模臨床試験にプラセボ群として組み入れられた既存椎体骨折を有する閉経後女性2,725例
方法：椎体骨折後1年以内の新規椎体骨折の発生率を検討した。
Lindsay, R. et al.: JAMA 285(3): 320, 2001 [L70030038725]より作図

図3 骨粗鬆症による骨折の予後

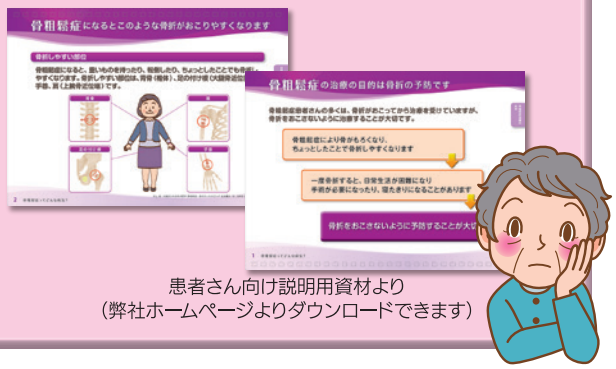
1) Hagino, H.: Yonago Acta Med 55(2): 21, 2012[L20161104013]
2) Tsuboi, M. et al.: J Bone Joint Surg Br 89(4): 461, 2007[L20161104009]
3) 金丸 由美子 ほか：整形外科と災害外科 59(3): 601, 2010[L20161104011]

患者さんにはこう伝える

骨粗鬆症になると骨がもろくなるために、重いものを持ったり、つまづいたりしただけで骨折するようになります。

骨折すると、一人で生活することが難しくなったり、手術が必要になったりすることがあります。そのまま、寝たきりになってしまう方も少なくありません。

寝たきりにならないように、骨折が起こる前から、お薬などで予防していきましょう。



患者さん向け説明用資材より
（弊社ホームページよりダウンロードできます）

ファイザー株式会社
〒151-8589 東京都渋谷区代々木3-22-7

VAT39K019A

2020年9月作成